

産地だより

「十穀粥」の雑穀の「プロ農夢(ノウム)」様です。  
安心安全な雑穀を産地から全国へ  
株式会社 J A グリーンサービスタ花巻

プロ農夢花巻事業本部

営業課 高橋 一矢



弊社は、岩手県のほぼ中央に位置する花巻市を拠点に、花巻農協の子会社として、J A 管内と岩手県内で生産された原料を使用した製品を全国の消費者の皆様に届けています。

「五穀豊穰」の言葉があるように、日本人は多くの雑穀を食べてきました。雑穀と一言で言っても大小様々な種類と色合いがあり、その一粒一粒にそれぞれの特徴と高い栄養価が秘められています(雑と言うと、見た目や聞こえは良くありませんが、「様々な」という意味があります)。また、雑穀栽培は、他の穀物等と違い、除草や病害虫に使用できる登録農薬がほぼありません。穀種によつては、播種(ハシユ：種まきのこと)から収穫まで機械化体系が確立されておらず、未だ手作業で行われているのが現状です。私たちは、このような雑穀を少しでも身近に感じていただけるように、安心安全、安定供給は基より、産地や生産者の存在と消費者を結ぶパイプ役として、雑穀の普及拡大に係わっていきたくと思っています。先人が残してくれた大切な食文化を継承しつつ、秘められた雑穀の多くの機能性を活用し、生産者と消費者と共に、点と点を繋ぎ合わせた産地作り、商品作りを目指していきたくと思います。

爽りの秋の雑穀圃場(作物を育てる田畑)はとてもキレイです。目で見て、食べて体のリフレッシュに岩手県、花巻市に是非遊びにいらしてみませんか!!

製造スタッフだより

美味しく安全な商品をお届けできるように

細心の注意を払います

製造 高橋 幸子



私は、本社工場で製造を担当している高橋と申します。マーマ食品に入社して2年が経ちました。仕事も一通り覚え、新しく入社してくる人たちにも仕事を指導することも多くなりました。

私が所属している班は、深絞り(ふかしぼり：真空パックする機械)という機械を使つての製造ラインの作業をしています。頒布会の商品については小袋にする前の親製品(大袋製品の製造)をしています。

作業工程は、大まかに、①段取り②計量③タレ入れ④真空包装の4つに分かれます。工場で働くことが初めてでしたので、どこを担当しても覚えるまでが大変でした。仕事に慣れてきた今は、材料の個数やグラム数に間違いがないかなどの確認等を、一つ一つに、より一層注意しながら作業しています。お客様に美味しく安全に食べて頂けるように、これからも努力していきたくと思います。どうぞ、よろしくお願いたします。

「毎日のお惣菜」、美味しくいただいております。東日本大震災より5年ですね。新聞には震災に遭った方々の体験が連日載っていましたね。読んでいて涙が出ます。「負けてたまるか!」と頑張られている姿に、こちらも励まされています。私の気持ちをお届けします。(長崎県 K 様)

いつもご利用いただきありがとうございます。K 様には、震災に対してお心をお寄せいただいたお便りを何度も頂き、本当に嬉しく思っております。お心をお寄せいただくお客様、ご支援頂いているお客様の恩に感謝しながら、頑張っています。頒布会/鎌田

お客様からの  
お便り

「だまこぜんざい」3時のお茶うけに頂きました。食べながら、美味しいかどうか考えて、不味くはないけど、やっぱりお餅で汁が沢山あった方がいいな~と思いました。と、言いながら今もお茶をしようとしていますけどね。(大阪府 N 様)

お便りありがとうございます。貴重なご感想をありがとうございます。「だまこ」という珍しい東北の食材をお届けしようと作った商品でした。N 様のようにいろいろなご感想を頂きながら、改良改善していきたく思っております。これからもよろしくお願いたします。

商品開発/小田島